

**周南市 / 周南市社会福祉協議会 (山口県周南市)**

(構成：美地域福祉コーディネーター、  
民生委員・児童委員、福祉員)

《活動主体の概要》

総人口： 147,423人

高齢者数： 44,829人

世帯数： 67,753世帯

産業構造： 重化学工業、農業

地理的構造：山口県の東南部に位置し、  
北は中国山地を背に、南は  
瀬戸内海を臨む



活動のきっかけ

わが国は類を見ないスピードで高齢化が進展し、周南市においても、高齢化率は29.8%（平成27年4月1日現在）となっており、数年後には3人にひとりが高齢者になると予想されています。

このような中で、周南市では高齢者が安心して暮らせるよう、平成25年4月に福祉総合相談窓口として24時間365日対応の「もやいネットセンター」を設置し、さらには、市・市社協・警察の三者協定や地域と関わりのある事業者との見守り協定など、地域で共に支え合う“もやい”のまちづくりを進めています。

また、こうした取組を受け、周南市社会福祉協議会では、民生委員・児童委員、福祉員による友愛訪問活動(地域見守りネットワーク)をさらに充実させるため、地域の高齢者等の見守り活動の拠点として、平成25年度に各地区社協に「もやいネット地区ステーション」を設置し、「地域福祉コーディネーター」(市社協職員)を配置の上、訪問活動等を実施しています。

活動方法

(1) もやいネットセンター

相談する際に相談先を迷わないよう、あるいは問題を抱えたまま孤立しないよう

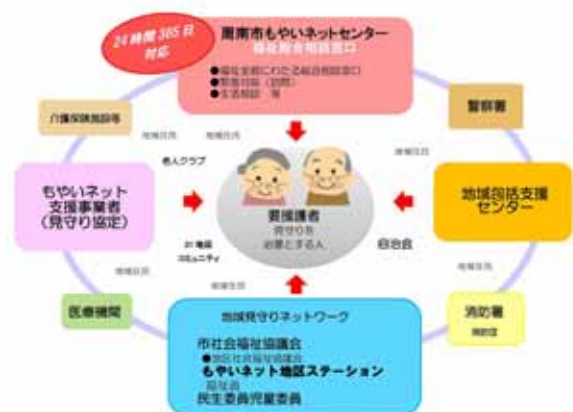
相談窓口を一本化し、「相談したい人」と「関係機関」をつなぎます。また、夜間や休日の緊急事態への対応のための連絡体制(24時間対応)を整えています。

(2) もやいネット支援事業者

各家庭を訪問する機会のある事業者と協定を結び、日常業務においてさりげない見守りを行ってもらい、異変に気付いた際には、もやいネットセンターに連絡してもらいます。平成27年度時点で64の事業者と協定を結んでいます。

(3) もやいネット地区ステーション

地域の見守り拠点として公民館等の公共施設に設置しています。また、各地区ステーションに地域福祉コーディネーターを配置し、民生委員・児童委員、福祉員と協働して見守り活動を推進しています。



## 工夫点

市内31地区社協すべてに地区ステーションを設置し、地区社協から選出された地域福祉コーディネーターを配置しています。地域福祉コーディネーターは市社協のパート職員として雇用し、月12日程度勤務し、以下の業務を行っています。

(1)主に地域のひとり暮らし高齢者世帯(民生委員・福祉員からの訪問依頼世帯)を対象に訪問の上、安否確認を行なうとともに、生活課題を早期発見し、関係機関につなぎ早期対応を図る。

(2)地区社協が行う地域見守りネットワーク活動の調整役を担う。(需給調整会議の開催等)

(3)訪問対象者の近隣住民に対し、見守り活動への参画を促す。(地域見守りネットワークの構築)

(4)もやいネットセンターや地域の見守り活動関係者からの安否不明にかかる連絡を受けて現地におもむき、関係者と協働し早期対応を実施



(地域福祉コーディネーター)

## 成果

上記のように、地域福祉コーディネーターの活動は、高齢者の安否確認だけに留まらず、生活課題をいち早く発見して関係機関につなぐことや、近隣住民にも見守り活動への参画をお願いするなど、高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進め

ています。こうした活動は、従来からの友愛訪問活動、地域見守りネットワーク活動をより強固に支え、地域が一丸となって重層的・複眼的な見守り活動を展開する力となっています。

また、地域福祉コーディネーターは地域の高齢者の実態を把握していることから、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域の支え合いの推進役として期待できます。

## 課題

もやいネット地区ステーションは、平成25年度の9地区を皮切りに、平成26年度に16地区、そして平成27年度には全31地区に設置予定です。今後は、公民館、地区民協、地区社協等へのヒアリングにより諸課題を抽出するなどの検証を行い、本事業を効果的かつ継続的に展開していくことが求められます。また、併せて地域福祉コーディネーターの育成・資質向上などの取組を進める必要があります。

適切な人材確保について課題となっている。また、福祉ニーズの中でも「高齢者の交通手段確保」については住民ニーズが高いため、町においてコミュニティバス運行事業等を行ってはいるものの、充分とは言えず、残された大きな課題となっている。

## 代表者、事業者等の声

周南市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域住民、関係機関等、多くの方々にご協力いただき、全市的な地域支え合い、見守り活動(もやいネット)を推進しています。「舩い」、「催合う」とは「共に行うこと」、そして「共に分かち合うこと」を意味します。今後、市内全域に、より「もやいネット」の輪が広がっていくことを期待しています。(周南市地域福祉課)